

施策評価シート(平成23年度の振り返り、総括)

作成日 平成 24 年 5 月 31 日

施策	15	道路網の整備	主管課	名称	地域整備課	関係課	
				課長	増田 伸之		

施策の目的	対象 (誰、何を対象としているのか)	対象指標	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度見込み	把握方法
	①町民	A	人口(外国人も含む)	人	22,924	22,618	22,194	21,727	
B									
C									
D									
意図 (対象がどのような状態になるのか)		成果指標 (意図の達成度を表す指標)	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度目標	設定の考え方と把握方法
①安全で円滑に移動できる。		A	町内の道路に不便を感じている町民の割合	%	36.6	38.6	-	52.9	
	B	道路改良率 都市計画道路改良率	%	35.6 13.4	36.6 14.0	36.8 17.6	36.8 17.6		
	C								
	D								
	E								
	F								

住民と行政との役割分担	1. 住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	2. 行政の役割 (町がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
	①道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 ②地域における道路愛護に努める。 ③地域でできる簡易な修繕及び維持管理を行ってもらう。 ④道路の危険箇所の通報。	1)町がやるべきこと ①町民ニーズを勘案しながら、住環境の向上や産業の振興に結びつく道路網の整備(維持管理含)を行う。 ②橋梁等の長寿命化を進める。 ③町道の維持管理のための資材支給 ④国県道の整備について国県等へ要望する。 ⑤国県道の整備を実施する際に協力・連携する。

1. 施策の成果水準とその背景・要因		
<p>1) 現状の成果水準と時系列比較（現状の水準は？以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は？）</p> <p>① 町内の道路で不便を感じている町民の割合は、平成21年度38.6%、平成23年度52.9%と13.9ポイント増加した。地区別にみると、月夜野地区が56.4%と最も高く、水上地区54.8%、新治地区47.8%となっている。不便の内容を地区別にみると、月夜野地区で「道幅が狭い」の割合が高い。新治地区では「暗い」、「草刈り・清掃などの維持管理が不十分」の割合が高く（特に旧猿ヶ京小学校区で60.0%）、「歩道がない」の割合が低い。</p> <p>② 道路改良率は、平成20年度35.6%、平成21年度36.6%、平成22年度36.8%、平成23年度36.8%と横ばいである。町道の総延長が長いと、道路改良は進めているものの改良率にあまり変化はない。</p> <p>③ 都市計画道路の改良率は、平成21年度14.0%、平成22年度17.6%、平成23年度17.6%と、平成22年度に大幅に増加したが、平成23年度は横ばいとなった。</p>	<p>2) 他団体との比較（近隣市町村、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は？）</p> <p>① 町道延長は県内町村では一番長く、整備率の向上を図るためには多大な投資と時間が必要となる。</p> <p>② 県内市町村における道路改良率の平均値は平成23年度47.1%であり、みなかみ町の36.8%を10.3ポイント上回っている。道路改良率は道路延長が短く人口が集中する都市部で高い傾向にあるためであると考えられる。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町が改良率36.8%（総延長1125.9km）であるのに対し、沼田市35.9%（1390.5km）、中之条町36.3%（707.3km）、片品村39.8%（363.2km）、川場村60.7%（158.7km）、昭和村40.7%（536.4km）となっている。（平成23年4月現在）</p>	<p>3) 住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準なのか 同程度なのか、低いのか、その他の特徴は？）</p> <p>① 町民の約5割以上が町内の道路に不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとは言えない。特に、「道幅が狭い」62.8%、「暗い」48.1%、「歩道がない」44.6%が高い割合となっている。</p> <p>町民アンケートによると、町内の道路に感じる不便の具体的内容は、</p> <p>① 道幅が狭い62.8% ② 暗い48.1% ③ 歩道がない44.6% ④ 草刈り・清掃などの維持管理が不十分26.0% ⑤ カーブミラー・ガードレールなどの付属物の整備が不十分21.3% ⑥ バリアフリー化が進んでいない15.5% ⑦ 接続が悪い10.9% ⑧ 混雑・渋滞が激しい3.1% ⑨ その他5.8%</p> <p>となっている。</p> <p>また、自由記述欄には、道路の拡幅や信号の設定の変更を求める意見や、費用対効果を十分に考慮したうえでの公共工事の実施を求める意見が寄せられている。さらに、この施策に対する満足度は、満足8.2%、やや満足23.4%、やや不満15.5%、不満6.1%となっている。</p>
2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括		3. 施策の課題認識と改革改善の方向
<p>① 町道悪戸関口線関口橋橋梁整備工事(上部工)を実施することが出来た。</p> <p>② 入須川師田線の改良工事により1車線道路が2車線道路に拡幅され通行の安全が確保された。</p> <p>③ きめ細かな臨時交付金を活用し、町内5箇所舗装、排水路等の補修を行い町民の利便性を向上することができた。</p> <p>④ 原材料購入事業では、町が購入した資材を地域に提供し労務を地域が負担することで、町道の修繕整備を進めるとともに、町民の道路愛護意識を醸成することができた。</p> <p>⑤ 橋長14.5m以上の全ての橋梁96箇所の点検を実施することができ、橋梁の長寿命化修繕計画を平成24年1月末に策定することができた。</p> <p>⑥ 集中豪雨にて被災した道路の復旧作業を迅速に行うことで、更なる被害の拡大を防止することができた。</p> <p>⑦ 三国トンネルの整備方針が決定し、事業に着手した。</p> <p>⑧ 国道291号の上毛高原駅と水上間の拡幅改良と湯檜曾橋の架け替え事業が進んだ。</p> <p>⑨ 主要地方道渋川下新田線の土津地区と師田地区の改良事業が進んだ。</p> <p>⑩ 一般国道17号羽場地区の歩道改修事業が進んだ。</p> <p>⑪ 真政悪戸線、駅坂線及び悪戸矢瀬線の事業が進んだ。</p> <p>⑫ 温泉街通り線の改良事業が完了した。</p>		<p>① みなかみ町橋梁長寿命化修繕計画を基に橋梁の改修を計画的に進める。</p> <p>② 現在建設中の町道悪戸矢瀬線の全線を早期に開通することで、道路網の利便性を向上させることができる。</p> <p>③ 住民の不便さを解消するには、地域の町道を改良すること(狭あい道路の整備)が課題である。</p> <p>④ 道路整備において、用地交渉を円滑に進めるため職員の育成および人材確保が課題である。</p> <p>⑤ 各種建設促進期同盟会の要望活動により、国県道の改良が進むよう働きかけることが重要である。</p> <p>⑥ 都市計画道路の幅員等の見直しを検討する必要がある。</p> <p>⑦ 望郷ライン県道昇格について、県議会において趣旨採択されたものの、進捗していない。</p>